

ひびき

山梨県立甲府支援学校

TEL 055-226-3322

ごあいさつ 甲府支援学校校長 相山 洋幸



日頃より、本校の教育活動、ならびに特別支援教育の推進に対し、深い御理解と温かい御支援を賜り、心より感謝申し上げます。

本校では、学校目標である「ひびき合え 心豊かに すこやかに」のもと、子供一人一人の可能性を大切に、安全に安心して学び、健やかに成長できる教育の実現に取り組んでいます。この学校目標には、子供同士、学校と家庭、そして学校と地域が互いに関わり合い、心をひびき合わせながら、共に育ち合っていくことへの願いが込められています。

近年、小学校・中学校・高等学校においては、特別支援学級や通級による指導の充実、個別の教育支援計画や指導計画の活用などをおして、障害の有無にかかわらず、個々の教育的ニーズに応じた支援を行う取組が一層進んでいます。また、合理的配慮の提供や学習・生活面でのきめ細かな支援を通して、共生社会の実現を目指す取組が、学校現場全体で広がりを見せています。

さらに、肢体不自由や病弱がある子供たちへの支援体制の充実も進んでいます。先日、県内の市町村が学校看護師を雇用し、人工呼吸器が常に必要な児童が地域の公立小学校に通学することが県内で初めて実現したとの報道がありました。このような地域の取組は、子供たちの「学ぶ権利」を保障するとともに、保護者の皆様の安心にもつながる、非常に意義深いものです。

こうした動きの中で、特別支援学校には、専門性を生かした教育の充実に加え、地域の小・中・高等学校や関係機関と連携し、特別支援教育全体を支える役割が求められています。本校においても、子供たちが将来、地域社会の中で自分らしく生活し、学び続けていけるよう、日々の授業や行事、体験的な活動、進路に向けた学習を大切にしてきました。

本誌は、そうした本校の教育活動や子供たちの学びの様子をお伝えするとともに、学校・家庭・地域を結ぶことを目的としています。それぞれの学校等が抱える課題に対して、特別支援学校におけるセンター的機能を発揮し、さらなる連携協力体制と様々なニーズに応えられる仕組みを構築していきたいと考えております。特に、各学校に在籍する児童生徒の学習上及び生活上の困難さを軽減するための支援機器等の活用や環境整備に関する相談、本校に配置されているPT（理学療法士）、OT（作業療法士）や関係する医療機関と連携した児童生徒への支援について、引き続き取り組んでいきます。

地域での様々な出会いや関わりは、子供たちの心を豊かにし、「人とつながる力」「社会と関わる力」を育む大切な機会となります。本誌が、特別支援教育への理解を深め、支援の輪を広げるきっかけとなれば幸いです。お困りのことがありましたら、お気軽にお問い合わせください。よろしく申し上げます。



甲府支援学校ホームページは、
こちらからどうぞ！

